

特定健康診査・特定保健指導（御蔵島村の取組）

御蔵島村の国民健康保険における特定健康診査の実施率は、97.5%（平成28年度）と高い状況です。

この背景には、チラシを各戸配布するほか、村民の特徴でもある「意識の高さ」が大きく影響しています。特定健康診査は委託によって行っていますが、特定健康診査の対象者だけでなく、他の対象者の健診もまとめて実施をすることで、村民全体が関心を持つことができ、村民が、それぞれ声を掛け合って、受診をしている状況です。

また、特定保健指導の実施率は、100%（平成28年度）となっており、該当者全員が指導を受けています。その方法は、健康診査の結果から、村の非常勤保健師が該当者をピックアップして、家庭訪問をし、指導を行うという丁寧な方法です。保健師や担当者の地道な努力によって、全員が負担感なく指導を受けられています。

(2) がんの予防

【現状と課題】

がんは、昭和52年より都民の死因第1位です。総死亡の約3割を占め、およそ3人に1人が、がんで亡くなっています。

東京都のがんの75歳未満年齢調整死亡率^{注1}は、平成17年は男女全体で93.9でしたが、平成27年には77.9となり、10年間で約17.0%減少しました。直近の平成28年には75.5となり、更に減少しています。

◇ がんの予防

予防可能ながんのリスク因子として、食事や身体活動、喫煙等の生活習慣が挙げられます。「バランスの良い食生活」、「適度な身体活動」、「適正体重の維持」、「節酒（飲酒する場合には節度のある飲酒）」に「禁煙」を加えた5つの生活習慣に留意することは、がんのリスクを下げるために有効とされています。また、受動喫煙を防止することも大切です。これらに気をつけることにより、がんになるリスクが約4割低下すると言われており、生活習慣を改善することが何よりも重要です。

島しょ圏域の飲酒の状況をみると、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者^{注2}の割合は男性で25.0%、女性で12.7%と、「健康日本21」の目標値である男性13%、女性6.4%よりも高い状況でした。飲酒に限らず、がんの予防に関する生活習慣について啓発を行い、島民の生活習慣改善を図ることが必要です。

また、日本人のがんの発症において、ウイルスや細菌の感染は、男性では喫煙に次いで第2位、女性では最も大きな要因となっています。ウイルス性肝炎は、本人が感染に気が付かないうちに慢性肝炎、肝硬変、肝がんへ進行するリスクが高い疾患ですが、医療の進歩により治癒率も上昇しています。感染症予防に関する啓発や、早期に発見し、適切な診断、治療につなげる取組が重要です。

◇ がんの早期発見

がんの死亡減少のためには、定期的ながん検診の受診による早期発見が重要です。東京都では、がん検診受診率50%を目標として掲げていますが、東京都におけるがん検診受診率は上昇傾向にあるものの、平成27年時点では、いずれも40%前後にとどまっています。島しょ圏域の町村におけるがん検診の受診率は、町村やがんの種類によって異なりますが、多くは50%に達していません。

また、科学的根拠に基づくがん検診を実施することが重要で、国が定めた「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（厚生労働省健康局通知）（以下「指針」という。）」に基づくがん検診を実施している町村は、9町村中1町（平成28年度 5がん全てを完全遵守）です。

注1 年齢調整死亡率：高齢化の影響等による年齢構成が異なる集団の間で死亡率を比較したり、同じ集団の死亡率の年次推移をみるため、集団全体の死亡率を基準となる集団の年齢構成（基準人口）に合わせた形で算出した死亡率（人口10万対）壮年期死亡の減少を高い精度で評価するため、「75歳未満」の年齢調整死亡率を用いている。

注2 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者：1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g以上、女性で20g以上の者（純アルコール量20g目安：ビール中瓶1本、日本酒1合）

精密検査の受診率については、国のがん対策推進基本計画において、90%の目標が設定されましたが、島しょ圏域の町村における精密検査の受診率は町村やがんの種類によって異なりますが、多くは90%に達していません。

がんによる死亡率減少のためには、受診の勧奨・再勧奨や啓発等の取組による受診率の向上、国の指針に基づく検診の実施に取り組むことが重要です。

区市町村実施分のがん検診受診率（平成27年度 男女計）（%）

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
東京都	6.7	9.9	23.5	21.0	21.5
島しょ	10.8	27.8	18.8	35.5	27.7
大島町	4.9	-	24.5	21.3	23.7
利島村	-	67.5	37.0	61.0	-
新島村	15.2	32.4	13.3	47.0	48.3
神津島村	-	16.4	14.6	42.0	51.9
三宅村	15.6	18.2	19.3	55.8	-
御蔵島村	56.6	53.8	65.9	87.8	-
八丈町	12.5	24.0	16.1	19.6	21.7
青ヶ島村	-	18.0	37.9	66.7	-
小笠原村	-	53.7	9.4	94.7	12.6

資料：「平成29年度東京都がん検診精度管理評価事業」 東京都福祉保健局

【施策展開の基本方針】

- がん予防に関する知識について普及啓発を実施し、島民の生活習慣の改善につなげていきます。
- がんの早期発見・早期治療のため、がん検診や精密検査の受診を促す取り組みを推進します。
- 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実を図ります。

【今後の取組】

- 1 生活習慣改善のための普及啓発の推進
- 2 がん検診受診率を向上させるための取組の実施
- 3 精密検査受診率を向上させるための取組の実施

【指標】

指標名	現状	目標値
がん検診の受診率	胃がん 10.8%	向上させる
	肺がん 27.8%	
	大腸がん 18.8%	
	子宮頸がん 35.5%	
	乳がん 27.7%	
精密検査の受診率	胃がん 56.4%	向上させる
	肺がん 39.5%	
	大腸がん 46.1%	
	子宮頸がん 50.0%	
	乳がん 73.1%	

《関係機関等の取組》

町 村	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん検診受診率向上のための取組を推進します。 ・ 要検査の場合の精密検査受診率向上のための取組を推進します。 ・ がん予防のための普及啓発を行います。
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん教育を実施します。
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんの精密検査や専門医療の支援を行います。 ・ がんに関する情報提供を行うとともに、地域特性を活かした健康管理を推進します。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん検診の受診の勧奨を行います。 ・ がんに関する情報の周知を図っていきます。
島 民	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん検診を受診するとともに、要検査の場合は必ず精密検査を受診します。 ・ がん予防の情報をもとに、生活習慣の改善に努めます。
保 健 所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肝炎ウイルス相談、検査を実施し、早期発見、早期治療につなげます。 ・ 町村のがん検診実施状況を把握し、がん検診の精度管理を支援します。